

(安心を実現する) - [戦略6] 長寿を楽しむ～長寿を恐れない社会から長寿を楽しむ社会へ～

(1)現状と課題		(2)概要					(3)施策体系					(4)県民アンケート結果																				
<p>4人に1人が高齢者である本県は、全国でも有数の長寿県です。長寿を楽しむためには、生涯を通じた健康づくりの取組みに加え、地域・社会貢献活動の推進などによる生きがいづくりが重要となっています。また、認知症高齢者をはじめとする要介護高齢者が、地域で安心して生活することができるよう、支援する取組みが必要です。</p>		<p>何歳になっても、健康でいきいきと仕事やボランティア活動に打ち込むことができ、知識や経験、技能などの持てる力を生かし、生きがいを持って活躍できるよう、高齢者の“居場所”と“出番”を提供します。</p> <p>また、医療や介護が必要になっても、安心して住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、地域包括ケアの体制づくりを行政、医療、福祉が連携した“オール熊本”で進めます。</p> <p>このような取組みを通じて「長寿を恐れない社会」を更に一歩進め、「長寿を楽しむ社会」をつくり出します。</p>					<p>①長寿を楽しむくらしづくり</p> <p>◆いつまでも元気に長生きできる ～いつまでも健康で活躍できる環境づくり～ 【担当部局：健康福祉部・教育庁】</p> <table border="1"> <tr> <th>H</th> <th>事業数</th> <th>決算額</th> <th>H</th> <th>事業数</th> <th>予算額</th> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>10</td> <td>400,495千円</td> <td>H27</td> <td>11</td> <td>482,452千円</td> </tr> </table>					H	事業数	決算額	H	事業数	予算額	H26	10	400,495千円	H27	11	482,452千円	<p>【満足度】</p> <p>【今後の方向性】 (4位)</p>								
H	事業数	決算額	H	事業数	予算額																											
H26	10	400,495千円	H27	11	482,452千円																											
<p>★戦略指標〔単位〕</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>策定時</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>目標値</th> </tr> <tr> <td>i</td> <td>276 (H23)</td> <td>380 <76.0%></td> <td>443 <88.6%></td> <td>520 <104.0%></td> <td>500 [か所(累計)]</td> </tr> </table>			策定時	H24	H25	H26	目標値	i	276 (H23)	380 <76.0%>	443 <88.6%>	520 <104.0%>	500 [か所(累計)]	<p>◆年金プラスαのシルバーライフを実現する ～高齢者のコミュニティビジネスなどへの支援～ 【担当部局：企画振興部・健康福祉部・農林水産部】</p> <table border="1"> <tr> <th>H</th> <th>事業数</th> <th>決算額</th> <th>H</th> <th>事業数</th> <th>予算額</th> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>4</td> <td>287,749千円</td> <td>H27</td> <td>4</td> <td>484,427千円</td> </tr> </table>					H	事業数	決算額	H	事業数	予算額	H26	4	287,749千円	H27	4	484,427千円	<p>【満足度】</p> <p>【今後の方向性】 (5位)</p>	
	策定時	H24	H25	H26	目標値																											
i	276 (H23)	380 <76.0%>	443 <88.6%>	520 <104.0%>	500 [か所(累計)]																											
H	事業数	決算額	H	事業数	予算額																											
H26	4	287,749千円	H27	4	484,427千円																											
<p>ii シルバーインストラクター登録人数 [人]</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>策定時</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>目標値</th> </tr> <tr> <td></td> <td>- (H23)</td> <td>38 <31.7%></td> <td>65 <54.2%></td> <td>82 <68.3%></td> <td>120 [人(累計)]</td> </tr> </table>			策定時	H24	H25	H26	目標値		- (H23)	38 <31.7%>	65 <54.2%>	82 <68.3%>	120 [人(累計)]	<p>◆介護が必要になっても安心して暮らせる ～地域での介護を支える環境づくり～ 【担当部局：健康福祉部】</p> <table border="1"> <tr> <th>H</th> <th>事業数</th> <th>決算額</th> <th>H</th> <th>事業数</th> <th>予算額</th> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>8</td> <td>297,389千円</td> <td>H27</td> <td>8</td> <td>1,210,805千円</td> </tr> </table>					H	事業数	決算額	H	事業数	予算額	H26	8	297,389千円	H27	8	1,210,805千円	<p>【満足度】</p> <p>【今後の方向性】 (1位)</p>	
	策定時	H24	H25	H26	目標値																											
	- (H23)	38 <31.7%>	65 <54.2%>	82 <68.3%>	120 [人(累計)]																											
H	事業数	決算額	H	事業数	予算額																											
H26	8	297,389千円	H27	8	1,210,805千円																											
<p>iii 認知症サポーター活動が活性化している市町村数 [市町村]</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>策定時</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>目標値</th> </tr> <tr> <td></td> <td>12 (H23)</td> <td>27 <60.0%></td> <td>36 <80.0%></td> <td>43 <95.6%></td> <td>45 [市町村(累計)]</td> </tr> </table>			策定時	H24	H25	H26	目標値		12 (H23)	27 <60.0%>	36 <80.0%>	43 <95.6%>	45 [市町村(累計)]	<p>◆病になっても安心して暮らせる ～安心な地域医療体制の整備～ 【担当部局：健康福祉部】</p> <table border="1"> <tr> <th>H</th> <th>事業数</th> <th>決算額</th> <th>H</th> <th>事業数</th> <th>予算額</th> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>16</td> <td>699,610千円</td> <td>H27</td> <td>15</td> <td>1,047,372千円</td> </tr> </table>					H	事業数	決算額	H	事業数	予算額	H26	16	699,610千円	H27	15	1,047,372千円	<p>【満足度】</p> <p>【今後の方向性】 (2位)</p>	
	策定時	H24	H25	H26	目標値																											
	12 (H23)	27 <60.0%>	36 <80.0%>	43 <95.6%>	45 [市町村(累計)]																											
H	事業数	決算額	H	事業数	予算額																											
H26	16	699,610千円	H27	15	1,047,372千円																											
<p>iv 訪問看護ステーションがある市町村数 [市町村]</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>策定時</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>目標値</th> </tr> <tr> <td></td> <td>31 (H23)</td> <td>31 <68.9%></td> <td>42 <93.3%></td> <td>44 <97.8%></td> <td>45 [市町村(累計)]</td> </tr> </table>			策定時	H24	H25	H26	目標値		31 (H23)	31 <68.9%>	42 <93.3%>	44 <97.8%>	45 [市町村(累計)]	<p>◆長寿を支える環境を整備する ～高齢者が安心して暮らせる環境づくり～ 【担当部局：健康福祉部・商工観光労働部・土木部】</p> <table border="1"> <tr> <th>H</th> <th>事業数</th> <th>決算額</th> <th>H</th> <th>事業数</th> <th>予算額</th> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>22</td> <td>1,251,640千円</td> <td>H27</td> <td>24</td> <td>1,827,307千円</td> </tr> </table>					H	事業数	決算額	H	事業数	予算額	H26	22	1,251,640千円	H27	24	1,827,307千円	<p>【満足度】</p> <p>【今後の方向性】 (3位)</p>	
	策定時	H24	H25	H26	目標値																											
	31 (H23)	31 <68.9%>	42 <93.3%>	44 <97.8%>	45 [市町村(累計)]																											
H	事業数	決算額	H	事業数	予算額																											
H26	22	1,251,640千円	H27	24	1,827,307千円																											
<p>v 県内の自治体病院における常勤【補】医師数 [人]</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>策定時</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>目標値</th> </tr> <tr> <td></td> <td>316 (H23)</td> <td>318 <94.6%></td> <td>321 <95.5%></td> <td>326 <97.0%></td> <td>336 [人(累計)]</td> </tr> </table>			策定時	H24	H25	H26	目標値		316 (H23)	318 <94.6%>	321 <95.5%>	326 <97.0%>	336 [人(累計)]	<p>分析 自治医科大学医師の義務年限終了後の県内定着促進や、熊本大学に設置している寄附講座からの医師派遣などの医師確保対策により、H25年度から5名の増加となった。</p>																		
	策定時	H24	H25	H26	目標値																											
	316 (H23)	318 <94.6%>	321 <95.5%>	326 <97.0%>	336 [人(累計)]																											

【戦略6】長寿を楽しむ

No. (5)平成26年度の主な成果	(6)問題点(隘路)・課題	(7)平成27年度の推進方針等
<p>施策 31</p> <ul style="list-style-type: none"> シルバーインストラクターへの登録を競技団体等に呼びかけた結果、登録人数が累計で82人(スポーツ系69、文化系13)に増加 県民の健康寿命の延伸を目的に「くまもとスマートライフプロジェクト」を開始し、従業員や県民の健康づくりに協力する20企業等を応援団として登録 保育所・幼稚園でのフッ化物洗口実施率が69.9%に上昇。また、市町村や学校を支援した結果、小・中学校での実施率が前年度12.9%(53校)から70.5%(282校)に大きく上昇 	<ul style="list-style-type: none"> 文化系、芸術系のインストラクターの登録が少ないため、シルバー作品展出品者等に、さらに事業周知、登録呼びかけを行っていく必要あり 県民の健康づくりを支援するため、企業や団体による「くまもとスマートライフプロジェクト応援団」を増やす必要あり フッ化物洗口未実施の小・中学校を有する市町村には、役割分担や協力体制づくり等、具体的な協議を進めるよう支援が必要 	<ul style="list-style-type: none"> インストラクターの登録をさらに促進するため、引き続き、競技団体、ねんりんピック出場選手、シルバー作品展入賞者等に呼びかけ 県民への健康づくり活動情報発信とともに、応援団の登録促進に向けた企業訪問や取組の普及啓発を実施 未実施市町村への訪問を行うとともに、円滑な実施に向けて、県内外の実施校の有効な取組等をHPや研修会等で紹介するなど情報を発信
<p>施策 32</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の課題(買い物弱者支援等)をビジネスの手法を活用して解決するコミュニティ・ビジネス起業化の取組を8件支援 高齢者の地域社会貢献活動に関する講座を熊本市(2回・82名)、八代市(2回・43名)、天草市(1回・137名)で開催 	<ul style="list-style-type: none"> 里モンプロジェクト等により新たに芽生えた取組を発展させる仕組みづくりが必要 地域活性化の担い手である高齢者が、地域・社会貢献活動に意欲的に関わっていくことができるよう、更なる意識啓発が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 支援内容を充実させた地域づくりチャレンジ推進事業等により、高齢者等によるコミュニティ・ビジネス起業化の取組みを支援 講座開催の効果をアンケート等を基に分析し、実施時期、回数等など、より効果的な講座となるよう検討
<p>施策 33</p> <ul style="list-style-type: none"> 市町村社会福祉協議会に小地域ネットワーク活動等への取組を働きかけ、38市町村で組織的・計画的な見守り活動を実施 友愛訪問活動を行うシルバーヘルパーを1,273名、シルバーヘルパー指導者を219名を養成 小規模多機能ホーム等への働きかけや地域での掘り起こしの結果、地域の縁がわは77箇所増えて520箇所となり、交流、見守りや安否確認の場が増加 認知症サポーターの人数が22万人を超え、養成率6年連続日本一を達成 認知症サポーター活動の活性化を促進する事業の支援、研修の実施等により、活動が活性化している市町村数が43市町村に増加 第5期介護保険事業支援計画に基づき、461人分(H24～累計1,876人分)の施設・居住系サービス等を整備 地域密着型サービス地域支援リーダー育成研修(3回)、地域密着型サービス地域ケア実践報告会(1回)の実施や、相談窓口を開設 	<ul style="list-style-type: none"> 地域における組織化された声かけ・見守り等の支え合いの仕組みづくりの普及が遅れている市町村がある状況 シルバーヘルパーについて、活動が十分とはいえない市町村もあり、これらの地域を中心に、活性化に向けた取組が必要 地域の縁がわの効果について、さらに、市町村に認識を深めてもらう必要あり 認知症サポーター養成講座について、高齢者層以外にも対象を拡大していく必要あり 活動活性化の具体的イメージ(取組内容、支援方法等)を市町村に提示する必要あり 多くの施設整備の事業主体である市町村に対して、第6期計画の目標達成に向けて、助言・指導を行うことが必要 地域密着型サービス事業所は介護サービスの提供と併せて、地域の拠点となり、地域支援の主体となることが求められている状況 	<ul style="list-style-type: none"> 地域福祉の専門家各市町村社会福祉協議会に派遣する「地域福祉サポーター派遣」や、地域福祉推進フォーラムの開催による意識啓発を実施 継続してシルバーヘルパー等の養成や、友愛訪問活動を含めた老人クラブ活動の活性化のため、老人クラブの活動広報推進事業の取組を実施 目標数であるH27年度末までの500箇所は達成したが、地域偏在があるので縁がわ取組団体が少ない地域への働きかけを実施 県民の認知症への正しい理解の促進のため、小中学校、生活関連事業所等へ働きかけることにより、認知症サポーターの継続した養成を推進 認知症の早期発見、行方不明問題等への対応のため、地域における見守り体制づくり、市町村区域を超えたネットワークの構築を推進 第6期計画に基づき、施設・居住系サービス等の整備を進め、H27年度は555人分(地域密着型415人分)整備見込 既存事業所を活用するための地域別研修会の実施や相談窓口の運営
<p>施策 34</p> <ul style="list-style-type: none"> 条件不利地域において新たに訪問看護サービスを立ち上げる事業所への支援を行い、新たに5事業所がサービスを開始 小規模訪問看護ステーションへの人件費及び研修費の補助により、看護師が26人、事務員が8人新たに雇用され定着 熊本大学医学部附属病院に設置している寄附講座から、地域の公立病院等へ医師を派遣(23名)し、地域における医師不足を緩和 6ヶ所の医療機関が「看護職員の魅力ある病院づくり」に取り組み、累計10ヶ所(H23以降)に増加 	<ul style="list-style-type: none"> 中山間地域等を中心に訪問看護サービスの提供体制が不十分な地域がある状況 訪問看護師を確保・育成し、訪問看護ステーションの地域偏在の解消、運営の安定化が必要 医師確保対策は、関係医療機関の協力が不可欠であり、熊本大学、医師会、公的医療機関等とのさらなる連携強化が必要 不規則な勤務や長時間労働、給与・育児支援の不備など労働環境の問題に対し、労働局や看護協会等との連携した支援が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、条件不利地域における訪問看護ステーション等の立ち上げ支援、サービスの普及啓発を実施 小規模な訪問看護ステーションへの人件費、研修費の補助により、ステーションの機能強化を支援。 現在実施している医師確保の各事業について、関係機関との連携を図りながら、精力的な取組を推進 看護職員の「雇用の質」の向上を図るため、労働局や看護協会等と連携し、職場への働きかけや研修会を実施
<p>施策 35</p> <ul style="list-style-type: none"> 県内2市が、認知症が疑われる方の自宅を訪問し、必要に応じて関係機関に適切につなぐ認知症初期集中支援推進事業を実施 市町村及び地域包括支援センター職員を対象とした成年後見制度に係る事例検討会(研修会)を7圏域で実施し、119名が参加 小規模市町村における体制整備のモデルとして、人吉・球磨圏域での広域的な成年後見人の担い手養成等に関して、継続的な支援を実施した結果、H27年度に事業開始 処遇改善を支援するため、新たに、職員の処遇に優れた社会福祉施設を表彰し、PRを実施 介護報酬に所定の加算を行う介護職員処遇改善加算を活用し、2,408事業所(約84%)が介護従事者の給与等の処遇を改善 県内の認定看護師が前年度から18人増の205人となり、専門性の高い看護師が増加 給与等の増額を図る保育所への補助を活用し、445カ所の保育所で処遇を改善 民間事業者のサービス付き高齢者向け住宅(2事業45戸)整備を支援し、中山間地域等での高齢者住環境整備を促進 	<ul style="list-style-type: none"> 認知症の早期発見・対応のためには、かかりつけ医等の認知症対応力向上と関係機関相互の連携促進が必要 相談窓口である市町村等職員の実務経験の不足や、県民の理解が進んでいない状況 小規模市町村等においては、単独で十分な体制を確保することが難しい面があり、住民への周知等が進んでいない状況 若者の福祉離れが進み、養成校の定員割れなどが深刻化しているため、福祉の仕事のマイナスイメージを払拭していく必要あり 質の高い人材の安定的確保・定着のため、介護職のイメージ向上や処遇・勤務環境の改善に向けた継続的取組が必要 看護職員の資質向上を図るため、キャリアアップに対する研修支援体制の整備をしていく必要あり 人材確保・定着のため、処遇・勤務環境の改善に向けた継続的取組が必要 高齢化が進んでいる中山間地域等においては、民間の参入が難しいため参入を促し、かつ拠点機能を持った地域へ立地を誘導する必要 	<ul style="list-style-type: none"> 認知症初期集中支援推進事業を開始する市町村への支援を充実 様々な機会を通じて、市町村等職員、民生委員、介護関係職員等の制度に係る理解を促進 地域医療介護総合確保基金を活用し、法人後見や市民後見人の育成とその活動支援体制整備に取り組む市町村を支援 職員処遇の改善に優れた社会福祉施設の表彰、PRを行い、福祉分野のマイナスイメージを払拭 賃金等の更なる改善を図るため、介護職員処遇改善加算の活用促進と適正運用の推進 キャリアアップ支援、魅力ある職場づくりの推進、就労支援の充実を柱に、キャリアステージに応じ、看護職員確保を体系的に推進 職員処遇の改善に取り組む施設の表彰や管理者を対象とした研修の実施により、保育現場の環境改善を推進 民間事業者の住宅建設(50戸)を支援。また、中山間地域等内において、拠点機能を持った地域へ立地するものについては補助を拡充